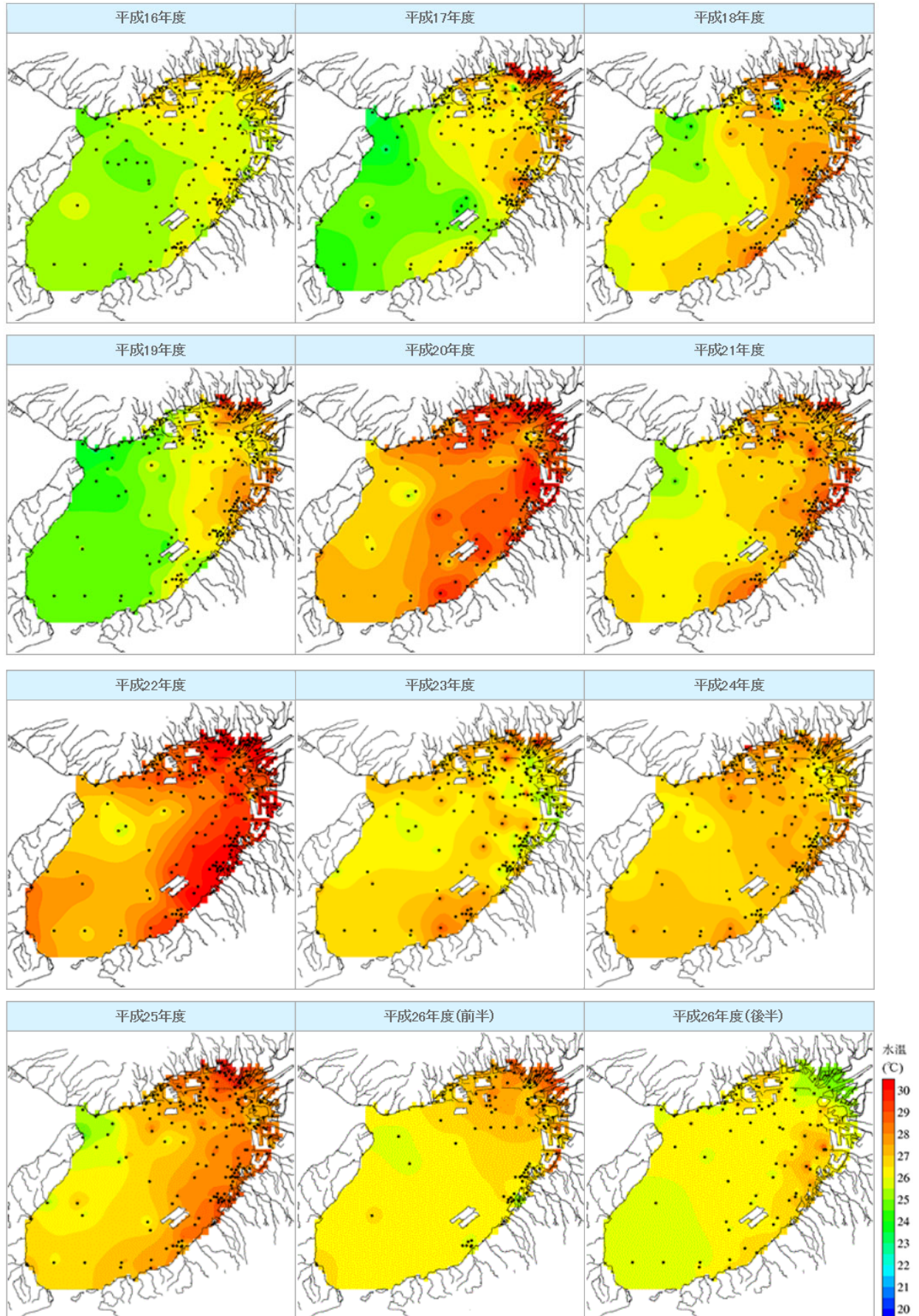


水温（表層）の分布図・経年変化図

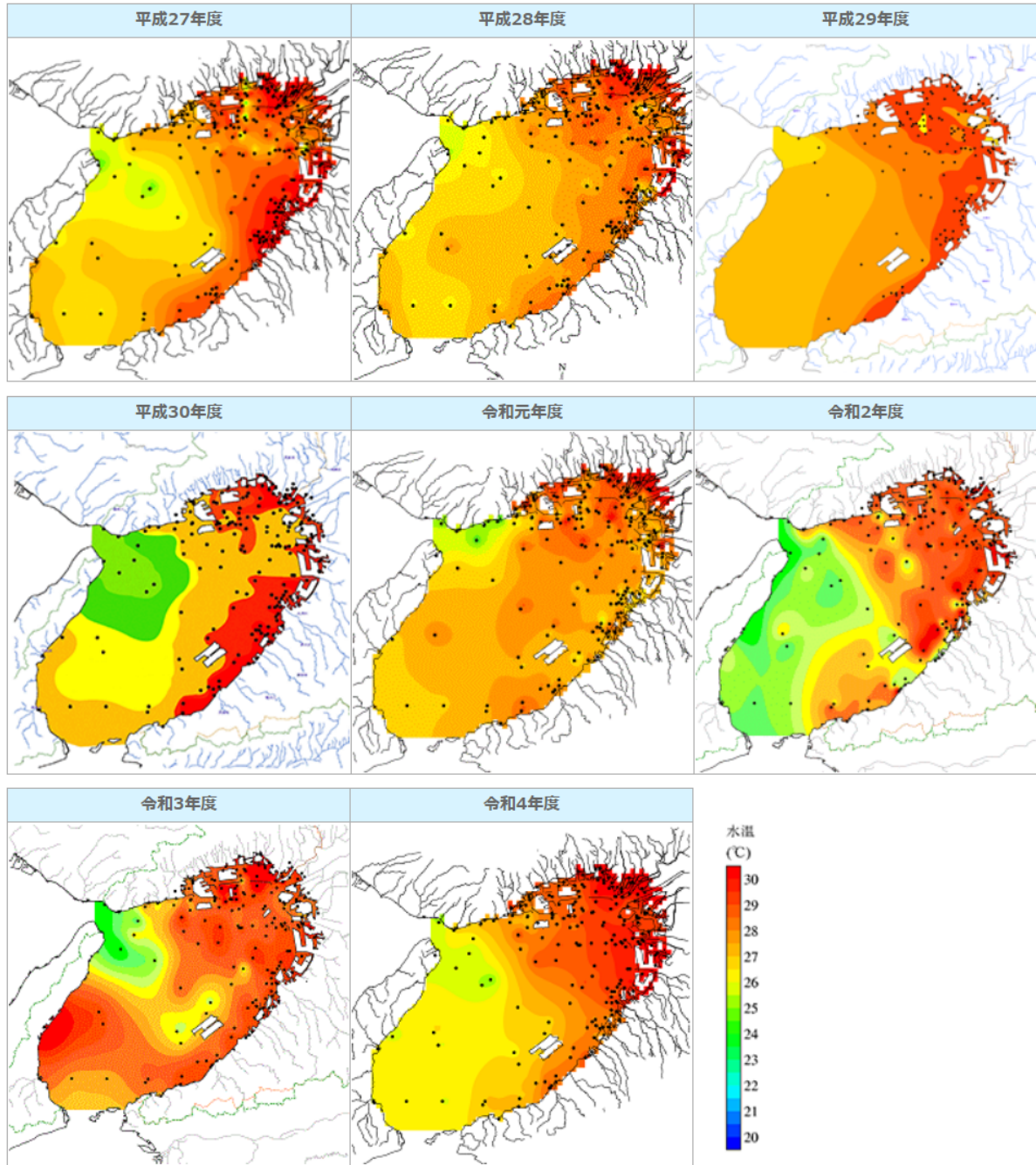
表層の水温は、測定時刻、測定水深により値が変動しますが、流れの弱い大阪湾の北東側で高く、西側で低い傾向がみられます。

本調査結果は、夏季1回の結果であり、調査実施時の気象・海象の状況による影響を受けています。調査日前に気温が高く日照時間の長かった平成20年度、22年度、27年度及び平成28年度は、表層水温の高い面積が大きくなっています。

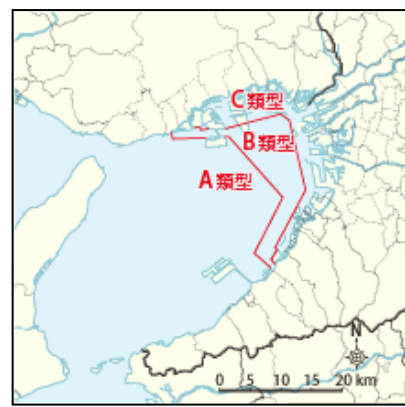
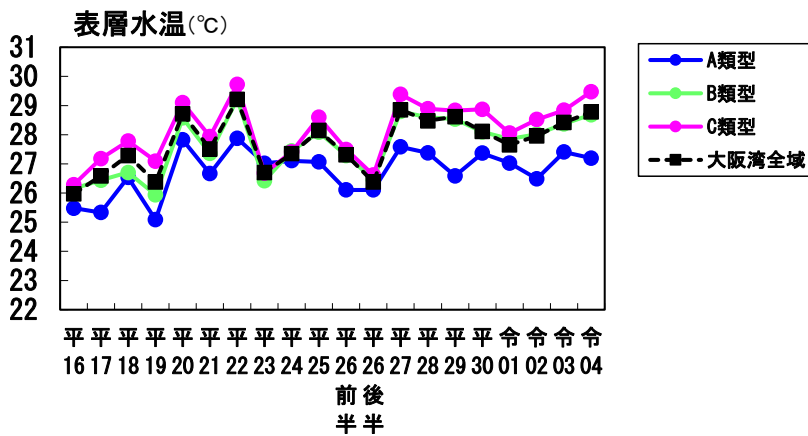
II 水平分布図



|| 水平分布図



|| 経年変化図



類型区分図